第６回コンサート

混声合唱塾
レント

2019年9月15日（日）

開場 13:30　　開演 14:00

茅ヶ崎市民文化会館 大ホール

後援：茅ヶ崎市、茅ヶ崎市音楽協会

災害復興支援チャリティー

プログラム

Ⅰ Stage　混声合唱とピアノのための **フォスター・メロディ**

指　揮　林　紀子
ピアノ　佐藤やえこ

作曲　S.C. フォスター
編曲　徳永洋明

- おおスザンナ　訳詩　津川主一
- 夢路より　訳詩　津川主一
- 草競馬　訳詩　津川主一
- 懐かしのケンタッキーの我が家　訳詩　伊庭　孝
- 故郷の人々　訳詩　堀内敬三

Ⅱ Stage　オペラ **カヴァレリア・ルスティカーナより**

指　揮　林　紀子
ヴァイオリン　小川智子
チェロ　佐藤史土
ピアノ　佐藤やえこ

作曲　マスカーニ

- オレンジの花香り
- 間奏曲　Ave Maria　編曲　江上孝則
- 復活祭の合唱
  ソプラノソロ　早河明子

◇◇◇◇◇ 休　憩（１５分）◇◇◇◇◇

Ⅲ Stage　混声合唱組曲 **心の四季**

指　揮　早河明子
ピアノ　佐藤やえこ

- 風が　作曲　高田三郎
- みずすまし　作詩　吉野　弘
- 流れ
- 山が
- 愛そして風
- 雪の日に
- 真昼の星

Ⅳ Stage　明日につなぐハーモニー **絆**

指　揮　早河明子
ピアノ　佐藤やえこ

- 青春の海　作詞　島田　圭
  補作　川原利也　作曲　浜名政昭
- ほらね、　作詩　伊東恵司　作曲　松下　耕
- いのちの歌　作詞　Miyabi　作曲　村松崇継
  ソプラノソロ　林　紀子
  ヴァイオリン　小川智子　チェロ　佐藤史土
- 涙をこえて　作詞　かぜ耕士　作曲　中村八大

混声合唱の響きを

ステージのご紹介

Ⅰ Stage　フォスター・メロディ

今年で没後 155 年。37 歳の若さで亡くなった、アメリカを代表する作曲家フォスターは、多文化が混じり合うアメリカ変革の時代に、ヨーロッパの伝統音楽と、多様な民族音楽を組み合わせ、独自の歌曲の世界を作り上げて行きました。そして普遍的心情を歌詞と旋律で描き、郷愁漂うメロディ、軽快で陽気なメロディは、人々の心を安らげ、勇気づけ、楽しませ、長い年月を経て今も歌い継がれています。そのフォスターの名曲を、作曲者・指揮者・ピアニストとしてマルチな活躍をする徳永洋明が、混声合唱とピアノのために編曲したものです。

「おおスザンナ」　陽気なメロディーで最初のヒット曲。ゴールドラッシュ時の賛歌。

「夢路より」　フォスターの死後発表された遺作。美しい旋律は世界中の人々から親しまれている。

「草競馬」　黒人たちが草競馬に集まってはやしたてている大変ユーモラスな歌。♪ドゥーダーは黒人たちがはやす掛け声。

「懐かしのケンタッキーの我が家」　アメリカ合衆国ケンタッキー州の州歌。郷愁を誘う親しみやすいメロディー。

「故郷の人々」　別名「スワニー河」で、アメリカ合衆国フロリダ州の州歌。編曲では「ユーモレスク」の旋律をピアノに取り入れています。合唱の響きと合わせてそのハーモニーをお楽しみください。

Ⅱ Stage　オペラ

イタリアの作曲家、指揮者でもあるピエトロ・マスカーニ（1863 年～ 1945 年）によって、1890 年に完成したオペラです。彼の代表作であると同時に、ヴェリズモオペラを代表する作品でもあります。

ヴェリズモオペラとは、これまでの神話中の人物や英雄、貴族を中心とした現実離れした作品と異なり、①下層階級の日常的な出来事②人間の弱さと罪深さ③血生臭い劇的な強烈さの 3 点が特徴で、世界の歌劇界に大きな影響を与えました。

題名を直訳すると「田舎の騎士道」。宗教や慣習に縛られた農村で、男女の愛と嫉妬がもたらす鮮烈な悲劇です。悲しみの中でオペラは終わりますが、今回私たちが歌う曲は次の 3 曲です。

「オレンジの花香り」　開幕の合唱曲。女声は暖かい陽射しに木々の緑、淡い季節に胸をときめかせ、男声は愛する人を想って歌います。

「アヴェ・マリア」　劇中では特にこの間奏曲が有名。映画ゴットファーザーのラストシーンでも演奏された美しい旋律で、歌曲としても親しまれています。

「復活祭の合唱」　教会の神聖なシーンで歌う祈りの合唱曲。合唱指導の早河先生も加わり、最後の「Al signor」（主よ）の高音は圧巻です。

ヴァイオリン、チェロの素敵な音色も併せお楽しみください。

Ⅲ Stage　心の四季

「**心の四季**」の作詩者吉野弘は、1926 年（大正 15 年）山形県酒田市で誕生、19 歳で終戦を迎えました。それまで軍国少年であった彼は、戦後の混乱の中で敗戦と肺結核をのり切り人々を励ます詩を書きたいと詩人になる決意をし、そして自然の理の中に人間の深層心理を探っていき、数々の詩を生み出しました。

ー「組曲　心の四季」という表題は、吉野弘から提供された詩の一編から着想したであろう主題を元にして、作曲者高田三郎がつけたと考えられる。日本の四季が見事に謳われているその詩を組曲の象徴として第一曲「風が」に置き、後は春夏秋冬を構成する詩を選んで晩春から早春へと巡る季節（人生）の中に生かされている生命、生と死を歌っている。高田三郎は、詩の深底にある難解さを吉野弘のやさしい表情を活かした親しみの上に、霊性を感じさせる音選びを重ねることで、音楽の優しさだけではない、特別な世界を現出させた。

東海メールクワイア　「心の四季作品考」より抜粋　**ー**

大量の情報が瞬時に私達の日常を通り過ぎて行く時代。日々一つひとつの言葉を深く問うことも少なく、表層の言葉として使っているのではと考える時があります。年齢を重ねた今、歌の言葉を、曲の表現を自分に問い直し、この曲達が歌う季節の移ろいや、山や川の大地の営みの中に、「いのち」そして「人生」を感じ取って戴ければ幸いです。

Ⅳ Stage　絆

このステージは、災害に見舞われた多くの方々を忘れず、音楽を通し少しでもあすへの希望と夢を届けられます様、「明日へつなぐハーモニー　絆」としました。

「青春の海」　1980 年茅ヶ崎市民文化会館落成時に作曲された組曲「湘南のうた」（全 5 曲）の中の 1 曲です。茅ヶ崎の海を舞台に風変わりで抒情豊かな詩と曲が、ナイーブな青春をやさしく包み込み、明日への希望を力強く表現しています。

「ほらね、」　東日本大震災の後、歌で日本をつなげよう、被災地を応援しようと企画された「歌おうＮＩＰＰＯＮプロジェクト」の為に書き下ろされた作品です。

「いのちの歌」　ＮＨＫ連続テレビ小説「だんだん」の劇中歌で、歌詞を竹内まりやが（Miyabi）のペンネームで提供しました。（合唱指導の林先生のソロに合唱が加わります。）

「涙をこえて」　ＮＨＫ歌番組「ステージ１０１」で生まれたヒット曲です。リズムに合わせて手をたたく度に勇気と希望が溢れ出る、そんな気持ちになれる歌です。

歌の持つ力を信じ、被災された皆様が、一日でも早く笑顔になれますよう願っています。

お楽しみください

コンサートに寄せて

ソプラノ・パート

これまで、楽しいこともつらいことも色々ありました。自分の来し方を重ねて「心の四季」をしっとりと歌うことができるといいなと思います。

今の私達に与えられた課題は、年を重ねるにつれ下がりがちなピッチを正確に保ち、響きを大切にすることです。楽譜は鉛筆やマーカーでびっしりと書き込みがされ、大きな文字で歌詞を用意したりしています。

自主練習では、苦手なところを復習するなどしてみんな一生懸命です。私たちは歌うことが大好きです。みんなと歌うことで元気になれます。みんなと笑い合うことが力になります。みんなは仲間です。色にたとえるなら、私たちはローズピンクドレスの色です。

アルト・パート

前回のコンサートの反省をもとに、ボイストレーニングに励んでいます。中間音が多く変化の少ない旋律を、いかに音楽的に表現し、アルトとしての響きを作っていくのかなど、問題は多いのですが、練習の成果は声や響きとして徐々に表れてきています。

譜読みの段階では、まだ曲をつかめない状態ですが、先生方のご指導や練習を重ねていく中で、曲の表情が見えてきます。表現することはとても難しく、良い響きが生まれる身体の使い方を工夫し、アルトの仲間と励まし合いながら、一歩一歩頑張っています。

年齢とともに暗譜することは大変ですが、お互いの声を聴き合い、音を重ね、溶け合ったハーモニーの中に音楽が生まれるとき、混声四部合唱の良さや楽しさを感じます。

テノール・パート

何と言っても、コーラスの楽しさはハモる事。テノールは何にでも挑戦する、前向きな姿勢で、ハモる楽しみをどんどん増やし、ハードルの高い暗譜に向けても真っしぐら？

テノールの役割を果たすには、歌声を遠くに響かせ、おっ！、頑張っているなと思われる確かな発声が出来るようになることも目標の一つです。

美しいハーモニーのために、発声練習にも集中力を最後まで保ち、歌うための努力を惜しまず、理論と実践をつなげて、良い発声になるよう併せて研鑽を積んでいます。

また、ファルセットを上手に使い、効率的な発声で無理のない美しいコーラスに繋げるトレーニングも自主練習で行っています。

「日々の練習の成果をご期待ください。」

バス・パート

他のパートを包み込むように支えるのがバスパートの役割かと思います。低い音をしっかりとした音程と、音量で歌うのはなかなか難しいことです。

合唱団の練習とは別に、月一回専門家のボイストレーニングを受けるなどしていますが、満足できるところまでは行っていないのが現実です。

今回のコンサートのレパートリーは幅広く、技術的にもやさしくはない曲も多いのですが、他のパートをよく聞き歌うことを心掛けています。

日本語を歌う際の発音の大切さ、オペラを歌う際の原語のニュアンス、合唱曲のハーモニーの動きの理論的な解説など、毎回の練習で先生方から学んだことを忘れず歌ってみたいと思います。

プロフィール

早河明子（指揮者、ソプラノ歌手）

湘南白百合学園、国立音楽大学声楽科卒業。大場岑子、岩崎由紀子各氏に師事。第二回日本演奏家コンクール第一位受賞。東欧の国立歌劇場にて、02 年「ノルマ」のタイトルロールを歌ったのをきっかけに、その後「椿姫」、「トスカ」、「イル・トロヴァトーレ」、「蝶々夫人」、「トゥーランドット」、「アイーダ」などの様々な主要なヒロインを演じ続け、現在そのレパートリーは 22 演目に達している。

オペラピアチェーレを主宰し、歌手を目指す人の為の講習会や公演を、日本とルーマニアで企画主宰。両国の文化交流にも尽力している。一方、合唱の分野でも混声合唱塾レントの他に、指揮者として、またボイストレーナーとしての活動も続けている。横浜シティーオペラ、首都オペラ各会員。

そのアリア（詠唱）は、豊かな音楽性と華やかさに溢れ聴衆を魅了する。

林　紀子（指揮者、ソプラノ歌手）

湘南白百合学園、国立音楽大学声楽科卒業。大場岑子、小川雄二、岩崎由紀子の各氏に師事。第 14 回新・波の会日本歌曲コンクール入選。「オペラアリア・重唱の夕べ」、「中田喜直歌曲コンサート」、 2007 年「木下牧子歌曲コンサート」、2008 年「シューベルト歌曲コンサート」など数々のコンサートに出演。2014 年「浜野美津子の作曲による日本の情歌」ＣＤをリリース。

混声合唱塾レントの他に、「藤沢市立看護専門学校」、鎌倉「Sotto Voce」、藤沢アカデミー「コール五十鈴」、藤沢市老人センターやすらぎ荘の「童謡・唱歌よろこび会」、「御所見コーラス」等、多くの合唱団を指導している。湘南演奏家協会、平塚音楽家協会、ぐるーぷ・なーべ各会員。藤沢にて「花の木音楽教室」を主宰。

美しい日本語で歌い上げる詩情豊かな日本歌曲は定評がある。

佐藤やえこ（ピアノ）

桐朋学園音楽大学付属高校音楽科、同大学ピアノ科卒業。三浦みどり、井口秋子、照澤惟佐子の各氏に師事。同大学付属「子供のための音楽教室」元講師。中田喜直、三善晃、高田三郎、湯山昭など多くの作曲家のレッスンを受ける。国内外でオペラ、歌曲、器楽曲などのアンサンブル活動を行う一方、混声合唱塾レントの他、「御所見コーラス」、女声合唱団「湘南の風」、「ソレイユ」、「あかしや」のピアニストを務める。

また、「平塚めぐみこども園」にて毎月ボランティアコンサートを行っている。アンサンブル・アスコルタメンバー、平塚音楽家協会会員。

ピアノ一台を自在に操るみごとなオーケストレーションとドラマティックな音楽の作りで好評を博している。

第６回コンサートに寄せて

本日はお忙しい中ご来場頂き心より感謝申し上げます。

オープニングの「そこに風がいる」は２００２年発足より団のイメージソングとして歌い続けています。コンサートでは地元愛の強い団員の要望で今回も茅ヶ崎にゆかりのある曲「青春の海」を歌います。

III Stage の高田三郎作曲「心の四季」は全国の合唱団に愛されている名曲ですが、私達にとっての「心の四季」を精いっぱい歌いたいと思います。

これからも混声合唱の楽しさ、楽曲の魅力、歌うことの素晴らしさを共有していければと思っております。

早河、林、佐藤

小川智子（ヴァイオリン）

東京芸術大学器楽科卒業。1972 ～ 1984 年までオランダのロッテルダム交響楽団の第一ヴァイオリン奏者として在籍。帰国後はフリーで室内楽をはじめ、オーケストラ、サロンコンサートなどに出演、幅広く活動している。

「平塚めぐみこども園」にて毎月ボランティアコンサートを行っている。

佐藤史土（チェロ）

慶應義塾大学工学部卒業。幼少よりピアノを習い、チェロと作曲を独習する。環境音楽家の故・吉村弘氏らと「麗会」等にて即興演奏を手掛ける。現在、画廊等にて即興ユニット「トマソンズ」のライブ活動に注力している。

ブログ「ジョヴァンニッキ」で、絵画・彫刻等のアートおよび作曲を評論する。

ごあいさつ

本日はお忙しい中、混声合唱塾レントの第６回コンサートにお越しいただき誠にありがとうございます。

東日本大震災の後も、２０１６年に熊本、２０１８年に大阪北部、北海道胆振東部と全国各地で大きな地震の被害が発生し、被災者の方々は未だに避難所での不自由な生活を余儀なくされておられます。このような状況を心にとどめ、私たちは今回のコンサートも引き続き災害復興支援のためのチャリティーコンサートとして行うことにいたしました。

現在レントのメンバーは大半がシニア世代であり年々平均年齢も上がってきておりますが、新しいメンバーも加わり、歌に対する情熱は衰えることなく、熱く辛抱強い三人の先生方のご指導を得て様々なジャンルの曲に取り組んでおります。

今日はみなさんに少しでも楽しんでいただけるよう、精一杯歌いたいと思います。どうぞ最後までごゆっくりお聞きください。

混声合唱塾レント一同

レントメンバー（40名）

■ソプラノ　１４名		■アルト　１３名		■テノール　７名		■バス　６名	
内倉千鶴	関口悦子	加地治子	細谷スミ江	石井淳一	俵　誠	石井幹雄	小林　基
梅本紀子	高山玲子	加藤悦子	三富春美	加藤淳一	中村　廣	小川和夫	渡邊秀夫
春日紀子	西野明子	久保田尭子	宮川喜代子	田井精一	松田次郎	黄川田栄	
加藤幸子	本渡　紫	佐藤ちづ子	茂木静子	髙山範雄		岸間　正	
熊沢光江	真崎光洋	滝田郁子	山部節子				
坂口洋子	山崎あつ子	平野康子	横山京子				
佐竹洋子	渡辺美千子	細貝貞子					

舞台監督　石井道明

レントのあゆみ

２００２年	４月	混声合唱塾レント発足	
２００５年	９月	第１回コンサート	茅ケ崎市民文化会館小ホール
２００８年	９月	第２回コンサート	茅ケ崎市民文化会館大ホール
２０１１年	９月	第３回コンサート	茅ケ崎市民文化会館大ホール
２０１３年	５月	歌劇「椿姫」出演 （茅ケ崎交響楽団創立 30 周年記念第 59 回定期演奏会）	茅ケ崎市民文化会館大ホール
２０１４年	９月	第４回コンサート	茅ケ崎市民文化会館大ホール
２０１６年	９月	第５回コンサート	茅ケ崎市民文化会館大ホール
２０１９年	９月	第６回コンサート	茅ケ崎市民文化会館大ホール

◆メンバー募集！

みなさん、一緒に歌いませんか！

練習日

原則　月３回（第１、第２、第４土曜日午前）

練習場所

ケヤキルーム（茅ケ崎市香川）、他

会　費　３０００円／月　入会費：なし

連絡先

中村　（電話 0463-71-4445）

田井　（電話 0467-51-7482）

●ホームページ　混声合唱塾レント で検索いただけます